

令和5年度 年間活動報告

並びに 令和6年度活動計画



教祖 140 年特別研修会（令和5年8月19～20日）

金光教全国信徒会

目次

■ 令和5年度年間活動報告

令和5年度	全国信徒会 活動報告一覧表	1
令和5年度	主要活動及び諸会議報告	
	1. 人事並びに慶弔に関わる事項	2
	2. 年間の主な活動概要	2
	① 教祖140年特別研修会開催	3
	② 「30日信行」の取り組み	5
	③ 「ご用奉仕」の取り組み	5
	④ 女性ネットワークの取り組み	6
	⑤ 委員の資質向上のための研鑽	6
	⑥ 「あいよかけよ」誌の発行	6
	⑦ 「当局との意見交換会」の開催	7
	⑧ 各種会議の報告	8
令和5年度	歳入・歳出決算書並びに監査報告	10
令和5年度	「あいよかけよ」誌 収支決算書並びに監査報告	11
令和5年度	教区信徒会 主行事活動報告	12

■ 令和6年度活動計画

令和6年度	全国信徒会 活動方針	17
令和6年度	活動方針の具体的方途	18
令和6年度	全国信徒会 活動実施計画一覧表	22
令和6年度	歳入・歳出予算書	23
令和6年度	「あいよかけよ」誌 収支予算書	24
令和6年度	全国信徒会 委員・役員 名簿	
	① 教区選出委員・特選委員 名簿	25
	② 委員役職・相談役・監事・参与及び当局主管等名簿	26
	③ 「あいよかけよ」誌編集委員会・全国信徒会協力会名簿	27
令和6年度	全国信徒会組織図	28

「あいよかけよ」誌 購読のお願い
金光教宣言、全国信徒会 綱領・布教実践項目

■ 各教会信徒会への回覧について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

【表紙写真】 令和5年8月19～20日に開催された「教祖140年特別研修会」の集合写真

令和5年度 全国信徒会 活動報告一覧表

《主要活動》

教祖 140 年特別研修会 テーマ：わが信心を見つめ直し、「神人の道」を現わす

全国信徒会は、5年前からブロック研修会に代えて全国大会を年1回開催することとなり、信心交流の場としてこれまで北海道・金光・四国・首都圏と開催しましたが、令和5年度は教祖様140年のお年柄になることから、代わって「教祖140年特別研修会」を開催し、教団の願いである「神人の道」が現れてくる信心実践の研鑽の場にさせて頂いた。

修徳殿入殿に準じ、講話、班別懇談、洒掃、お引けお見送り、お出ましお迎え等、2日間の盛りだくさんの研修であったが、それぞれに真剣に取り組み、充実した研修会であった。

《開催日時》令和5年8月19日（土）13:00～20日（日）12:00 [1泊2日]

《開催会場》金光北ウイングやつなみホール（宿泊・光風館）

《研修テーマ》「わが信心を見つめ直し、「神人の道」を現す。

《講話講師》岩崎 道與先生（金光教教務総長）「氏子信心いたしておかげ受け」

「30日信行」の取り組み

全国信徒会の委員、各教区信徒会の委員、各連合会の委員、賛同頂ける教会信奉者を対象に、「教祖様の『神人物語』をお手本に、それぞれの『神人物語』を編む」との教団の願いのもとに、①「神様との対話する力を高めさせていただく」、②「神様との縦軸を太くさせていただく」、③「自分自身の心の使い方と行動を変えていく」ことを目的としての取り組みを願って、「30日信行」に取り組んだ。

《期間》令和5年7月1日～31日

《参加者》チェックシート提出人数 115 教会 563 名

「あいよかけよ」誌の発行

「あいよかけよ」誌は、全国信徒会の機関誌としての役割を果たすとともに、文書布教の推進という面の取り組みも進め、毎月発行（年12回）している。購読数3,900部を目指しているが、信奉者の高齢化、信徒の減少等により、年々購読数の減少が続いている。

令和5年度は、各教区委員長に拡販のお願いをすると共に、隔月末に定期的に編集企画会議を開催し、新しい企画や取材先の情報交換を行い、誌面の充実を図る取り組みを行った。

《諸会議》

分類	会議名称	期日	出席者数
委員総会	第48回委員総会[決算総会](オンライン併用)	3月4日(土)	30名
	第49回委員総会[予算総会](オンライン併用)	12月10日(日)	25名
部会・全体会議	部会・全体会議(オンライン併用)	6月11日(土)	20名
常任委員会	第100回常任委員会(オンライン)	2月4日(土)	18名
	第101回常任委員会(オンライン併用)	6月10日(土)	18名
	第102回常任委員会(オンライン)	9月2日(土)	15名
	第103回常任委員会(オンライン)	11月4日(土)	18名
活動運営協議会	第24回活動運営協議会(オンライン併用)	12月9日(土)	24名
部長会・三役会	第1回三役会(オンライン)	10月14日(日)	7名
その他	教祖140年特別研修会実行委員会	1月15日(日)	8名
	刊行物等運営審議会(オンライン併用)	3月5日(日)	12名
当局との意見交換会	意見交換会(本部教庁会議室)	1月14日(土)	15名

令和5年度 主要活動及び諸会議報告

1. 人事並びに慶弔に関わる事項

- ▶ 令和5年1月1日付 全国信徒会委員選任（P24 参照）
- ▶ 令和5年1月1日付 全国信徒会委員長、副委員長、常任委員選任（P25 参照）
- ▶ 令和5年1月1日付 全国信徒会委員役職選任（P25～26 参照）

2. 年間の主な活動概要

活動テーマ：「神人」を現し、お道を伝える

令和5年度は、『神人』を現し、お道を伝える」を活動テーマに掲げ、太田 明委員長のもと、2期目の年の活動を行った。

新型コロナウイルス感染症の5類への移行により令和5年度の活動も徐々に緩和される中、2月に第100回常任委員会をオンライン（Zoom）で、3月に第48回委員総会[決算総会]と刊行物等運営協議会（1回）を本部教庁会議室（対面）＋オンライン（Zoom）で、6月に第101回常任委員会、部会・全体会議、並びに12月に第24回活動運営協議会、第49回委員総会[予算総会]を本部教庁会議室（対面）＋オンライン（Zoom）で開催、その他の常任委員会（3回）、三役会（1回）をオンライン（Zoom）で開催することが出来、支障をきたすことなく運営することが出来た。

毎年1月に開催している当局との意見交換会を1月に本部教庁会議室（対面）で開催し、内局から、令和5年度の教団の願いについての説明があり、全国信徒会から令和5年度の活動について説明した。また、教祖140年特別研修会や全国信徒会の活動について意見交換を行った。

教祖140年特別研修会については、8月に金光北ウイングやつなみホール、光風館において、講師、来賓、スタッフを含め50名の参加者をもって開催させて頂いた。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じつつ、対面での講話拝聴、班別懇談、お引けお見送り、お出ましお迎え、洒掃等かなりハードな内容であったが、生活運動推進プロジェクトが行ったアンケート「信心継承」の調査についても取り上げられ、参加者それぞれが真剣に取り組み、最終日にはやり切った充実感を共有した。

後日、収録した動画を編集し、DVDにダビングを行い、参加者全員と教内関係機関に、さらに、「教祖140年特別研修会記録誌」（A4版49ページ）を作成し、参加者全員に配布した。

祭場での祭典時のご用奉仕について、令和5年度においては、4月天地金乃神大祭、6月教団独立記念祭の前日と当日、10月生神金光大神大祭、12月布教功労者報徳祭の前日と当日、各祭典にて、延べ84名の全国信徒会委員が参拝者の案内、最終日は祭典後の参列教師控室の後片付け、祭場2階トイレ洒掃（祭典前日）をさせて頂いた。

生活運動推進プロジェクトでは、これまで進めてきた「30日信行」に取り組み、全教会に「30日信行のご案内」を配布させて頂き、563名の信奉者の取り組みがあった。令和6年度も生活運動の実践として、この活動を継続していく予定である。

女性ネットワークは、これまで全国信徒会の行事に併せて研修会などを開催してきたが、令和5年度は教祖直信である笠岡教会に参拝し、研修させて頂いた。

「あいよかけよ」誌の発行については、毎月1回の発行が出来た。新型コロナの5類に引き下げにより、少しずつ取材活動が出来るようになって来た。隔月、対面・オンラインで編集企画会議を開催し、編集長、編集委員が誌面の充実を目指して意見を交わした

また、毎年発行している全国信徒会の活動報告については、令和3年度より構成を一新し、「令和4年度年間活動報告並びに令和5年度活動計画」として6月に発行し、教団独立記念祭時の交付物として全教に配布させて頂いた。

①「教祖140年特別研修会」の開催

令和5年は教祖様140年のお年柄であることから、それまで開催してきた全国大会に代わって、ご霊地にて「教祖140年特別研修会」を開催し、研修を行った。

研修会テーマ：わが信心を見つめ直し、「神人の道」を現す

▶ 日 時：令和5年8月19日（土）13:00～8月20日（日）12:00

▶ 会 場：ご霊地・金光北ウイングやつなみホール並びに光風館

▶ 参加者：信奉者46名（全国信徒会20名、教区信徒会18名、その他8名）
本部より3名、事務局1名 計50名

【教区別】東北2、関東4、東近畿6、西近畿3、東中国3、西中国1、四国5、北九州10、南九州12

▶ 内 容：

[1日目]

○講話「氏子、信心いたしておかげ受け」 講師 金光教教務総長 岩崎 道與先生

（要旨）自分はなぜ信心しているのか？そこが明かにならないとバトンを手渡すことができない。『氏子、信心いたしておかげを受け』という天地金乃神様のみ祈りがあつての信心である。その信心が成就していくために神様が先に調べてくださったのが『天地書附』と『結界取次』である。『いのち』とは先祖から子孫へとつながる流れである。

『神人』と書くご信心をさせていただくことがいのちの助かりであり、神様とのつながりの中で信心が伝わっていく。

○班別懇談1（自己紹介、講話を聴いて）

○教主金光教お退けお見送り

○プレゼン「信心継承にかかわるアンケート結果」

翌日の班別懇談の内容にかかわる情報として、全国信徒会が令和3年に行った「信心継承につながるアンケート」（教報別冊天地2023.6 参照）の結果の一部を紹介した。

○記念映画「おかげは和賀心にあり」鑑賞

[2日目]

○教主金光教お出ましお迎え

○ご祈念（本部広前）～教祖奥城参拝

○班別懇談2（なぜ信心を続けていますか）

○洒掃

○班別懇談3（わが信心を見つめ直す）

○全体懇談（班別懇談報告、感話）

最後の全体懇談では、各班の代表から班別懇談の報告、佐藤布教部次長から、各班の発表を受けて、「わが信心を見つめ直す」ことや「信心継承」について感じているところを話して頂いた。

《評価・反省》

[全般]

・かなりハードなスケジュールであったが、満足感、充足感がある研修会で、やり切ったと



いう思い。(太田委員長)

- ・参加者アンケートの感想からうかがえるように、教祖140年の特別研修会として、実りある研修会が実施できた。

[プログラム・運営面]

- ・特に冒頭に岩崎教務総長に神人と書く「しんじん」のお話を頂き、全国信徒会が課題としている信心継承についても触れて頂いた。岩崎先生の講話は、良く解ったという感想(多数)と難しかったという感想(若干)があったが、理解を深めるため、研修会后、映像化、文字化を行った。
- ・班別懇談は6班に分かれて3回、それぞれ以下のテーマを設定して行った。

- ①自己紹介、講話の感想
- ②なぜ(金光教の)信心を続けているか?
- ③わが信心を見つめ直す

当初、班別懇談①で、役割分担(班長、記録、発表者)を決める予定であったが、時間的制約から、主催者側で班長を指名させて頂いた。皆様協力的に受けて頂き、結果的にスムーズな進行が出来た。

この班別懇談が特別研修会で最も時間をかけたプログラムであった。付せんに考えをまとめて順番に発表し、付せんに報告シートに貼るという方式を取り、全員が均等に話ができ、また、報告シートが全体懇談時の発表の資料になった。

参加者アンケートにもあらわれているように、テーマに沿った話し合いが出来、全国の信奉者との交流が出来た。このことは班長の進行が良かったことに尽きる

- ・教祖140年特別研修会であり、修徳殿入殿に準じたプログラムとして、①お広前参拝、金光様お退け、お出まし時の「歩行」、②食事の際に、「食事の心得」、③使わせて頂いた光風館の「洒掃」を取り入れたが、参加者には概ね好感をもって受け入れられた。
- ・また、教祖140年を意識して、映画「おかげは和賀心にあり」を鑑賞した。以前見た方も、初めて見る方も感動をもって鑑賞させて頂いた。映画を通して、教祖様の信心姿勢を学べたという感想もある。

[今後のこと]

- ・今回は教祖140年の特別研修会として、10年ぶりの開催であったが、参加者アンケートに、今後も全国信徒会としてこのような研修会をとの要望がある。これについては、特別研修会が1回/10年では間が空き過ぎるので、3年に1度(任期中1回)を目途に研修会の開催を検討したい。

《報告・記録》

- (1)「教報」令和5年10月号 P23「MOVEMENT」に掲載。
- (2)「あいよかけよ」誌 令和5年10月号に掲載。
- (3) 動画作成：開会行事挨拶と講演を内容とするDVD作成し、教内関係機関に配付。また、YouTubeに講演動画をアップ。
- (4)「教祖140年特別研修会 記録誌」(※)を作成し、教内関係機関・参加者に配付。

(※) 印刷物は限定発行ですが、電子版(PDF)を希望の方は、全国信徒会事務局までお申し出ください。



② 「30日信行」の取り組み

令和5年度は、「教祖様の『神人物語』をお手本に、それぞれの『神人物語』を編む」との教団の願いのもとに、①「神様との対話する力を高めさせていただく」、②「神様との縦軸を太くさせていただく」、③「自分自身の心の使い方と行動を変えていく」ことを目的として、取り組んだ。

《期間》令和5年7月1日～31日

《参加者》チェックシート提出人数 563名

北海道	東北	関東	信越	東海	東近畿	中近畿	西近畿
0	0	49	0	10	13	44	65
東中国	西中国	四国	北九州	南九州	海外		計
48	71	48	119	96	0		563

《評価・反省点》

- ・令和5年度もご本部大祭時の交付物として全教会へ資料を配布して頂くと共に、教区委員長からの周知をお願いした。今年は「あいよかけよ」誌の見開きページのとじ込みを掲載した。
- ・教区間で取り組みにばらつきがあり、全国的な活動に至っていない。

③ 「ご用奉仕」の取り組み

令和5年度ご霊地での祭典時に、全国信徒会委員の参拝にあわせて、ご用奉仕をさせて頂いた。

ご用奉仕内容：参拝者の座席案内、祭場入り口で参拝者の体温測定・手指消毒等、感染予防5類に引き下げられてからは、マスクの着用のお願いと祭典後の参列教師控室などの後片付けを行った。

祭典名他	期日	参加者数	備考
第48回委員総会	3月4日	15名	境内休憩所・トイレ
天地金乃神大祭	第1日	4月2日	祭場案内係など
	第2日	4月6日	
	第3日	4月9日	
教団独立記念祭 前日洒掃	6月10日	15名	祭場2階トイレ
教団独立記念祭	6月11日	10名	祭場案内係など
生神金光大神大祭	第1日	10月1日	祭場案内係など
	第2日	10月8日	
	第3日	10月10日	
布教功労者報徳祭 前日洒掃	12月9日	18名	祭場2階トイレ
布教功労者報徳祭	12月10日	12名	祭場案内係など
合計		延べ106名	



3/4 境内休憩所洒掃



6/10 祭場2階トイレ洒掃



6/11 教団独立記念式



12/9 祭場2階トイレ洒掃

④ 女性ネットワークの取り組み

▶ 教祖直信教会への参拝

6月11～12日、女性ネットワーク一泊研修会を開催した。参加者は女性信奉者（委員を含む）11名と太田委員長の12名。

1日目は、教団独立記念祭参拝後、本部広前に集合し、ご祈念、立教聖場・教祖奥城を巡拝し、会場の土佐家で開会式、自己紹介、各教区の活動報告などを行う。

2日目は、教主金光様お出ましをお迎えし、教祖直信教会である金光教笠岡教会を参拝し、教会長・齋藤東洋男先生のお話を拝聴し、貴重な資料などを見せて頂き研修した。

【「あいよかけよ」誌No.574（2023年7月号）にて報告】

⑤ 委員の資質向上のための研鑽

▶ 委員総会時の教話・体験発表

- ・3月4日 第48回委員総会（決算総会）において、「全国信徒会委員手引書（令和5年版）」に基づき、伊藤総務部長が全国信徒会の位置づけや活動内容を説明した。
- ・12月9日 第24回活動運営協議会において、小山正弘常任委員（会津若松・福島）の信心感話を聞いて研修した。

▶ 修徳殿入殿（信徒入殿）

- ・令和5年度は、委員研修の一環として、「修徳殿入殿」に取り組み、以下の参加があった。

5月27～28日 5名参加

⑥ 「あいよかけよ」誌の発行

「あいよかけよ」誌は全国信徒会の機関誌として文書布教を担い、信心生活のお役に立つことを願いとして取り組み、信徒会諸活動の報告や信心を学ぶための「あいよかけよ信心教室」等を掲載してきた。また、令和3年度からシリーズとして、「難はみかげ」「幸せを感じる瞬間」のテーマで投稿記事を掲載し、好評である。

令和5年12月の有料購読冊数は3,687冊であり、信奉者の高齢化、信徒の減少を背景に、年々購読数の減少が続いている。

さらに、新型コロナの5類に引き下げにより、少しずつ取材活動が出来るようになってきた。

令和5年度も、隔月末に定期的に編集企画会議を開催し、新しい企画や取材先の情報交換を行い、誌面の充実を図る取り組みを行った。

<参考> 有料購読冊数の推移 ※各年12月時点の冊数

平成 12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
8,283冊	8,284冊	8,099冊	7,903冊	7,769冊	7,495冊	7,314冊	7,097冊	6,520冊
21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
6,583冊	6,531冊	6,230冊	6,075冊	5,999冊	5,692冊	5,466冊	5,129冊	4,918冊
30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			
4,707冊	4,455冊	4,306冊	3,930冊	3,743冊	3,687冊			

⑦ 「当局との意見交換会」の開催

➤ 当局との意見交換会

- ・日時：令和5年1月14日（土）15:30～17:15
- ・方法：本部教庁4階大会議室
- ・出席者：（本部当局）岩崎教務総長、山本教務理事（総務部長）、石黒教務理事（布教部長）、森教務理事（財務部長）、大矢教務理事、佐藤布教部次長（司会）、関口布教部書記
（全国信徒会）太田委員長、阪本副委員長、野田副委員長、中谷副委員長、伊藤総務部長、花岡経理部長、重見生活運動推進PT代表、吉岡事務局員
- ・内容：①令和5年度の教団の願いについて（本部当局）
②令和5年度の活動方針・具体的活動について（全国信徒会）
③その他意見交換
 - ・「教団の願い」について
 - ・「教祖140年特別研修会」について
 - ・「30日信行」について
 - ・全国信徒会に願うこと

【「あいよかけよ」誌No.569（2023年2月号）にて報告】

⑧各種会議の報告

会議名	期日	場所 又は方法	出席者数
教祖 140 年特別研修会実行委員会	1月 15 日(日) 8:45～11:45	教庁 4 階大会議室	7 + 1 名
	「教祖140年特別研修会」の内容について検討 ・教祖140年から教祖150年へ向けて、信徒会委員の資質向上を主願とするため、講話と班別懇談を内容とする。 ・参加対象者は全国信徒会委員、教区信徒会委員、地方連合会信徒委員とする。 ・主なスタッフ、役割分担、準備スケジュール、案内方法などを検討した。		
第 100 回常任委員会	2 月 4 日(土) 13:00～15:15	Zoom によるオンライン会議	15+ 3 名
	第 48 回委員総会(決算総会)に向けて、提出議題の審議 [議題] ①令和 4 年度歳入歳出決算報告承認の件 ②令和 4 年度「あいよかけよ」誌の収支決算報告承認の件 ③令和 4 年度全国信徒会協力会決算報告承認の件 ④令和 5 年度会議及び活動実施計画について ⑤「30 日信行」について ⑥令和 5～7 年度 各教区の全国信徒会委員の確認 ⑦令和 5～7 年度 全国信徒会役職(案)について ⑧教祖140年特別研修会(案)について 【「あいよかけよ」誌No.570(2023年3号)にて報告】		
第 48 回委員総会(決算総会)	3 月 4 日(土) 13:00～16:30	教庁 4 階大会議室 + Zoom によるオンライン会議	26 + 4 名
	[定足数の確認] 出席者 22 名 + Zoom 4 名 = 26 名(総会成立) 《委員研修》 本年度は委員改選の時期に際し、「全国信徒会委員手引書(令和 5 年版)」に基づき、伊藤総務部長が全国信徒会の位置づけや活動内容を説明した。		
	[議長] 大西昌信氏(葺合教会・西近畿) [議案] 第 1 号議案 令和4年度 全国信徒会活動報告承認の件 第 2 号議案 令和4年度 全国信徒会歳入歳出決算報告承認の件 第 3 号議案 令和4年度「あいよかけよ」誌収支決算報告承認の件 報告事項 全国信徒会協力会決算報告、教祖140年特別研修会について、「30日信行」について、本日のご用奉仕(洒掃)について、「あいよかけよ」誌山本前編集長への慰労の件等 【「あいよかけよ」誌No.571(2023年4号)にて報告】		
	[ご用奉仕]境内休憩所、トイレの洒掃奉仕(14名)		
刊行物等運営審議会	3 月 5 日(日) 9:00～12:00	教庁 4 階大会議室 + Zoom によるオンライン会議	12 名
	[議題] ①「あいよかけよ」誌編集方針・経営方針について ・購読数を増やし、収入増を図る案 ・発行経費を見なおす案 ②全国信徒会年間活動報告書について		
第 101 回常任委員会 部会・全体会議	6 月 10 日(土) 13:00～16:15	教庁 4 階大会議室 +	17+1 名
	6 月 12 日(日) 9:00～11:30	Zoom によるオンライン会議	19+1 名
	[議題] ①第 48 回委員総会の議事録報告 ②刊行物等運営審議会の議事録報告 ③各部・PT、各教区からの 3 月以降の活動動向の報告 ④ご用奉仕について ⑤教祖140年特別研修会について		
	[ご用奉仕]祭典前日祭場トイレの洒掃(15名)、教団独立記念祭にて案内係等のご用奉仕実施(10名)		

第 102 回常任委員会	9 月 2 日 (土) 13:30~16:30	Zoom によるオンライン会議	13+2名
	<p>[議題] ①令和 5 年度全国信徒会の具体的取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教祖140年特別研修会報告 ・各部・P Tからの活動報告 <p>「30日信行」、女性ネットワーク研修会、ご用奉仕など</p> <p>②次年度計画の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 5 回全国大会 in 北九州、「30日信行」、修徳殿入殿他 		
令和 5 年度 第1回三役会	10 月 14 日 (土) 20:00~21:40	Zoom によるオンライン会議	5+2 名
	<p>[議題] ①第 5 回全国大会について (池尻勝美、田中佐百合)</p> <p>②令和 6 年度活動方針、方途について意見交換</p> <p>③予算案について</p> <p>④金光新聞の件</p> <p>⑤その他</p>		
第 103 回常任委員会	11 月 4 日 (土) 13:30~16:30	Zoom によるオンライン会議	16+2 名
	<p>[議題] ①令和6年度全国信徒会活動方針、具体的方途(案)</p> <p>②活動実施計画一覧表(案)</p> <p>③令和 6 年度歳入・歳出予算書 (案)</p> <p>④令和 6 年度「あいよかけよ」誌収支予算書 (案)</p> <p>⑤令和 6 年度全国信徒会協力会予算 (案)</p> <p>⑥「教祖140年特別研修会」実施報告</p> <p>⑦全国信徒会「第5回全国大会 in 北九州」開催のご案内他資料</p> <p>【「あいよかけよ」誌No.579(2023 年 12 号)にて報告】</p>		
第 24 回活動運営 協議会	12 月 9 日 (土) 13:00~16:30	教庁 4 階大会議室+ Zoom によるオンライン会議	21+3名
	<p>《挨拶》布教部長・石黒眞樹先生</p> <p>《信心スピーチ》小山 正弘氏(会津若松教会・東北)</p> <p>審議に先立ち東北教区会津若松教会在籍小山正弘氏による信心スピーチがあり、祖母の祈りのなかで、金光教の本との出会いがそれからの信心実践に繋がった経緯、そして今感じているご信心について語られた。</p>		
	<p>[内容] ①令和 5 年度事業総括 (実施事業についての報告)</p> <p>②各部・各プロジェクト活動報告 (総務部、経理部、事業部、女性ネットワーク、生活運動推進プロジェクト)</p> <p>③令和 5 年度各教区活動実施状況及び問題点等の報告</p> <p>④教区信徒会活動について</p> <p>⑤令和 6 年度「第 5 回全国大会 in 北九州」について</p> <p>⑥その他</p>		
第 49 回委員総会 (予算総会)	12 月 10 日 (日) 9:00~10:20	教庁 4 階大会議室	24+1名
	<p>[定足数の確認] 出席者 24 名(総会成立)。</p> <p>[議長] 高塚 汎氏 (長崎教会・北九州)</p> <p>[議案] 第 1 号議案 令和6年度全国信徒会活動方針案承認の件</p> <p>第 2 号議案 令和6年度全国信徒会活動実施計画案(一覧)承認の件</p> <p>第 3 号議案 令和6年度歳入・歳出予算案承認の件</p> <p>第 4 号議案 令和6年度「あいよかけよ」誌収支予算案承認の件</p> <p>第 5 号議案 令和6年度全国信徒会協力会予算案承認の件</p> <p>その他報告 「教祖140年特別研修会」の経過報告</p> <p>「第5回全国大会 in 北九州」について</p>		
	<p>[ご用奉仕] 委員総会終了後、布教功労者報徳祭において、参拝者案内のご用奉仕実施(12名)</p>		

令和5年度 歳入・歳出 決算書

令和5年1月1日～令和5年12月31日

金光教全国信徒会

(単位:円)

歳入の部

款	項	予算額	決算額	増 △減	備考
1. 拠出金	① 拠出金	1,936,500	1,879,500	△ 57,000	11教区
2. 協力金	① 協力金	0	0	0	全国信徒会協力会
3. 諸収入	① 受取利息	1,000	289	△ 711	
	② 雑収入	0	125,575	125,575	特別研修会余剰金
4. 繰越金	① 前期繰越金	3,100,000	4,885,234	1,785,234	
歳入合計		5,037,500	6,890,598	1,853,098	

歳出の部

款	項	予算額	決算額	増 △減	備考
1. 活動費		1,160,000	1,001,416	158,584	
	① 研修会費	500,000	500,000	0	
	② 各種活動協賛金	60,000	30,000	30,000	広島平和集会20千円
	③ 広報活動費	250,000	266,200	△ 16,200	年間活動報告書
	④ 女性ネットワーク	100,000	100,000	0	
	⑤ 生活運動推進PT	200,000	105,216	94,784	
	⑥ 運営部	50,000	0	50,000	
2. 会議費		1,550,000	1,184,917	365,083	
	① 委員会費	100,000	65,534	34,466	
	② 常任委員会費	100,000	16,118	83,882	
	③ 委員交通費	1,300,000	1,090,200	209,800	
	④ その他会議費	50,000	13,065	36,935	
3. 事務局費		250,000	247,682	2,318	
	① 旅費交通費	50,000	61,512	△ 11,512	平和集会旅費
	② 備品費	5,000	0	5,000	
	③ 通信費	80,000	128,167	△ 48,167	Dropbox代42千円他
	④ 消耗品費	40,000	1,298	38,702	
	⑤ 印刷費	50,000	29,357	20,643	
	⑥ 支払手数料	5,000	2,124	2,876	
	⑦ 雑費	20,000	25,224	△ 5,224	クリーニング代15千円他
4. 予備費	① 予備費	2,077,500	0	2,077,500	
歳出合計		5,037,500	2,434,015	2,603,485	

歳入合計	6,890,598
歳出合計	2,434,015
次期繰越金	4,456,583

次期繰越金内訳	
現金	50,120
郵便貯金	4,406,463
合計	4,456,583

【監査報告】

令和4年度金光教全国信徒会の歳入・歳出決算書を精査した結果、正当に処理され、且つ正確であることを認めます。

令和6年2月27日

監事 仙石 貴宏 (印)

令和5年度「あいよかけよ」誌 収支決算書

令和5年1月1日～令和5年12月31日

収入の部

(単位:円)

款 項	予算額	決算額	増 △減	摘 要
I. 購読料収入	7,810,000	7,357,261	△ 452,739	
1. 定期購読料	7,800,000	7,309,611	△ 490,389	
2. スポット収入	10,000	47,650	37,650	
II. 広告収入	2,350,000	2,383,000	33,000	
1. 広告料収入	2,150,000	2,195,000	45,000	
2. 年賀広告収入	100,000	92,000	△ 8,000	
3. 暑中広告収入	100,000	96,000	△ 4,000	
III. 受取利息	0	2	2	
IV. 雑収入	0	0	0	
V. 前年度繰越金	490,000	△ 29,943	△ 519,943	
合 計	10,650,000	9,710,320	△ 939,680	

支出の部

款 項	予算額	決算額	増 △減	摘 要
I. 製本原価	9,070,000	7,484,190	1,585,810	
1. 印刷製本費	3,000,000	3,203,200	△ 203,200	印刷製本
2. 梱包発送費	1,650,000	1,613,974	36,026	
3. 通信費	120,000	28,000	92,000	
4. 制作費	3,600,000	2,275,000	1,325,000	
5. 編集会議費	200,000	13,780	186,220	
6. 取材経費	500,000	350,236	149,764	
II. 一般管理費	1,470,000	1,639,422	△ 169,422	
1. 事務外注費	850,000	753,500	96,500	購読者管理・経理事務費・顧問料
2. 通信費	120,000	77,877	42,123	
3. 広告宣伝費	0	0	0	
4. 支払手数料	120,000	194,895	△ 74,895	
5. 事務消耗品費	100,000	87,230	12,770	
6. 修繕費	0	0	0	
7. 租税公課	150,000	229,300	△ 79,300	法人税、法人県民税、法人住民税等
8. 接待交際費	0	109,720	△ 109,720	
9. 備品費	0	0	0	
10. 旅費交通費	50,000	37,100	12,900	
11. 運営会議費	30,000	0	30,000	
12. 雑費	50,000	149,800	△ 99,800	図書券
13. 未払消費税	0	0	0	
III. 予備費	110,000	0	110,000	
1. 予備費	110,000	0	110,000	
IV. 次年度繰越金	0	586,708	△ 586,708	
合 計	10,650,000	9,710,320	939,680	

財産目録(令和4年12月31日現在)

収入合計	9,740,263
支出合計	9,123,612
当年度収支差額	616,651
前年度繰越金	△ 29,943
次年度繰越金	586,708

現金	48,260
普通預金	18,042
ゆうちょ普通預金	186,162
ゆうちょ振替	7,986,496
合 計	8,238,960

【監査報告】

令和4年度金光教全国信徒会の「あいよかけよ」誌の収入・支出を精査した結果、正当に処理され、且つ正確であることを認めます。

令和6年2月27日

監事 仙石 貴宏 (印)

令和5年度 教区信徒会 主行事活動報告

1. 北海道教区信徒会

報告者：千葉 利樹

月	日	内 容	参加者数	場 所
1	21	教区信徒会総会(常任委員)	10名	札幌教会
3	11	教務センター、教師会、信徒会の三者懇談会設立	8名	札幌南教会
10	10	教祖様140年祭団体参拝	52名	御本部
11	4	三者懇談会	6名	ホテル
11	25	教区信徒会常任委員会	6名	札幌教会

2. 東北教区信徒会

報告者：小山 正弘

月	日	内 容	参加者数	場 所
2	18	委員総会	8名	
4	2	輔教集会への参加	4名	仙台市エル・ソーラ仙台
8	19～ 20	教祖140年特別研修会への参加	2名	ご霊地

3. 関東教区信徒会

報告者：阪本 正雄

月	日	内 容	参加者数	場 所
2	11	第29回首都圏「女性の集い」 会場 38名／視聴回数 163回(11/25 現在) 講演:「知っておきたい介護が必要になった時のために」 講師:日比野佐代子氏(ケアマネージャー) 【「あいよかけよ」誌No.572(2023年5月号)】	38名	中野サンプラザ研修室 +YouTube
3	18	教区信徒会第1回委員会	16名	オンライン会議(Zoom)
5	13	教区信徒会第2回委員会	15名	オンライン会議(Zoom)
7	22	教区信徒会第3回委員会	15名	金光教センタービル+ Zoom
9	9	防災研修会 ・一社ひかりプロジェクトの「防災出前講座」 ・「地震から身を守る」をテーマに動画視聴、 講義、グループ討議	13名	金光教センタービル
9	16	教区信徒会第4回委員会	16名	金光教センタービル+ Zoom
10	28	教区信徒会第5回委員会	16名	オンライン会議(Zoom)
11	25	教区信徒会部長会(委員総会資料作成)	6名	オンライン会議(Zoom)
12	16	教区信徒会令和5年度委員総会(第26回)	16名	金光教センタービル (オンライン併用)

4. 信越教区信徒会

月	日	内 容	参加者数	場 所

5. 東海教区信徒会

報告者：浅井 勝美

月	日	内 容	参加者数	場 所
2	20	教区信徒会委員総会	9名	名古屋センター (※オンライン併用)
3	20	教区信徒会委員会	8名	名古屋センター (※)
6	12	教区信徒会委員会	7名	名古屋センター (※)
8	2	教区信徒会委員会	10名	名古屋センター (※)
8	27	教祖 140 年研修会 「神人(しんじん)の集い」 テーマ:「神人の道」 講題:「神量らいは奇しくて、人の思いぞ及ばざる」 講師:今西寿彦先生(名古屋センター所長) 講話後、アンケートを取り、全体会にて講師に回答 して頂く方式とした。	77名	豊橋市民センター カリオンビル5階大会 議室 (※オンライン併用)
10	6	教区信徒会委員会 来年度活動について	8名	名古屋センター (※)
12	18	教区信徒会委員会 総会について	6名	名古屋センター (※)

6. 東近畿教区信徒会

報告者：勝見 嘉彦

月	日	内 容	参加者数	場 所
2	12	教区信徒会信徒部長会議	24名	教務センター
		第39回教区信徒研修会 講題:「金光教徒入会して53年」 発表者:鈴木あつ子氏(北里教会・滋賀)		
		令和5年度委員総会		
7	2	第116回常任委員会	18名	綾部教会
		令和5年度教区信徒信心研修会 信心体験発表 ・テーマ「現在進行形の信心」 発表者 細見光代氏(八木教会・京都) ・テーマ「神様が常におかげを授けて頂いていること に気づく」 発表者 白波瀬真木男氏(綾部教会・京都) 講話「金光様が自然に出てくる生活を」 講師 八木道德先生(八木教会・両丹連合会長) 懇親会	68名	
9	9	第117回常任委員会	16名	教務センター
		第40回教区信徒研修会 講題:「私が思う事」 発表者:田中佐千夫氏(加茂川教会・京都)		
11	25	第118回常任委員会	16名	教務センター
		第41回教区信徒研修会 講題:「信心のおかげってどういうこと? 求め続けた 私の原点」 発表者:島村喜代子氏(篠原教会・滋賀)		

7. 中近畿教区信徒会

報告者：渡辺 秀幸

月	日	内 容	参加者数	場 所
5	13	定例委員会 決算予算報告、各地連活動計画 「女性の集い」について	15名	大阪センター
7	17	第29回「女性のつどい」 講題：「親神様のお心」 講師：藤坂金生先生（鶴町教会・大阪） アトラクション：ハイレーズ・バンド演奏	90名	玉水記念館
9	9	定例委員会 各地連活動報告、第29回「女性の集い」報告	14名	大阪センター
12	23	定例委員会 次年度計画、予算計画、各地連活動計画、 懇親会	14名	大阪センター

8. 西近畿教区信徒会

報告者：大西 昌信

月	日	内 容	参加者数	場 所
2	11	教区信徒会総会	9名	西近畿教務センター
7		全国信徒会「30日信行」	65名	各教会
8	19～ 20	全国信徒会教祖140年特別研修会	3名	ご霊地
11	11	教区信徒会連絡協議会	9名	西近畿教務センター

9. 東中国教区信徒会

報告者：平井 道彦

月	日	内 容	参加者数	場 所
1	16	教区信徒会委員総会（活動報告・予算他）	14名	東中国教務センター
5	27	教区信徒会第20回地区別交流会 玉島教会の歴史を玉島教会長にお話し頂き、 近所の名所を案内して頂く	14名	玉島教会
9	9	岡山県東部教会連合会信心研修会	52名	岡東教会
9	14	旭川荘作業奉仕（9、10、11月）実施	18名	旭川荘
11	17	岡山県西部教会連合会常任委員会	13名	本部教庁4階

10. 西中国教区信徒会

報告者：永井 猛

月	日	内 容	参加者数	場 所
3	5	教祖様140年信心信行勢参拝（第17回） 信心研修（講話） 講師：岩崎教務総長 洒掃：祭場トイレ	248名	ご霊地
7	15	第78回広島平和集会	300名	広島県民文化センター
7	23	第39回山口平和集会	43名	原爆死没者の碑
		教区信徒会常任委員会		
		教区信徒会委員総会		

11. 四国教区信徒会

報告者：伊藤 道教

月	日	内 容	参加者数	場 所
1	21	教区信徒会委員総会	12名	教務センター会議室
2	5	教区勢参拝 講師 石黒眞樹先生(布教部長)	82名	ご霊地
3	25	教区信徒会委員会	9名	教務センター会議室
5	20	教区信徒会委員会(四国信徒委員研修会) 教話「お差し向けを受け止める稽古」 講師：吉川真司先生(四国教務センター所長) その後、各委員の信心研修、意見交換	10名	教務センター会議室
7	2	教区勢参拝 講師 大代信治先生(金光教学院長)	83名	ご霊地
8	19～ 20	教祖 140 年特別研修会参加	5名	ご霊地
9	30	教区信徒会委員会 その後、各委員の信心研修、意見交換	11名	教務センター会議室
11	11	教区信徒会委員会 その後、各委員の信心研修、意見交換	9名	教務センター会議室

12. 北九州教区信徒会

報告者：池尻 勝美

月	日	内 容	参加者数	場 所
1	22	教区信徒会委員総会・委員研修会 講師：原田邦祐先生(城島教会・福岡)	23名	クローバープラザ春日
3	12	教区信徒会女性部研修会 テーマ「おれと喜びを現そう」 発表者：牧野久美子氏(武雄教会・佐賀) 佐藤千香氏(直方教会・福岡) 全体懇談 【「あいよかけよ」誌No.572(2023年5月号)】	71教会 296名	サンメッセ鳥栖
5	14	教区信徒会常任委員会・青壮年対話・文書推進委員会	28名	北九州教務センター
9	2	教区信徒研修会 講師：金光道晴先生(本部・岡山)	235名	黒崎ひびしんホール
10	5	教区信徒会常任委員会・青壮年対話・文書推進委員会	28名	北九州教務センター
11	18	教区信徒会委員総会 全国信徒会第5回全国大会他	22名	北九州教務センター
11	18	教師と信徒との青壮年交流の集い 教師(20～40代)5名と信徒(20～50代)7名のパ ネリストによる意見交換会 【「あいよかけよ」誌No.580(2024年1月号)】	34名	北九州教務センター

13. 南九州教区信徒会

報告者：重見 敏也

月	日	内 容	参加者数	場 所
6	3～4	教区信徒会委員会	14名	宮崎教会
8	19～ 20	全国信徒会教祖 140 年特別研修会	12名	ご霊地
12	16～ 17	教区信徒会委員総会	14名	江田教会

令和6年度
全国信徒会活動計画

令和6年度 全国信徒会 活動方針

活動テーマ：「神人」を現し、お道を伝える

金光教全国信徒会

委員長 太田 明

新型コロナウイルスの感染制限も緩和され、ようやく経済活動も日常生活も普通の生活に戻りつつあります。しかし、この3年間はプラスもマイナスもあり、現実には、容易に元通りになることはできません。やはりダメージは大きかったといえましょう。しかし、新たな展開が生まれようとしていることも事実です。

全国信徒会におきましても、会議等は、リモート・リアルを併用して開催いたしました。他の事業に対しましては、予定通りのおかげを頂くことができました。

「教祖140年特別研修会」では、岩崎教務総長講話、映画「おかげは和賀心にあり」の上映鑑賞、「信心の継承」をテーマとした班別懇談、修徳殿形式を一部取り入れ、ハードな研修でしたが、充実した研修会となりました。

「30日信行」につきましても、今回も全教的に働きかけ、取り組みが広がりつつあります。

「信心の継承」につきましては、アンケートの集計ができ、天地「夏号」に掲載されました。

女性ネットワーク研修会では、教祖直信教会として笠岡教会を参拝させて頂きました。

また委員の資質向上のための研鑽として、修徳殿入殿と祭場祭典時のご用奉仕にあたらせていただきました。

「あいよかけよ」誌の発行につきましては、全国信徒会の機関誌として毎月1回発行させていただき、文書布教の一端を担わせていただいております。

そして、当局との意見交換会につきましては、教団の願いを受けての全国信徒会の活動でもありますので、相互の意見の確認に努めております。

このように、令和5年度は、教祖140年のお年柄の中で、充実した活動をさせていただくことができました。これもひとえに神様のお導きと、全国の皆様のお力添えの賜物と、感謝申し上げます。

教団にとりましても、私たちを取り巻く状況は、ますます厳しくなっています。教務におきましても、人的・財的な状況から、あらゆる活動の見直し、各教会にありましても同様に見直しが必要と迫られているのではないのでしょうか。私たち全国信徒会におきましても、神様からのお差し向けを受け止め、「真剣に御取次をいただき、御用のおかげをいただく」を改めていただき直して、取り組んで参りたいと願っております。

令和6年度は、教祖150年を目指してのスタートの年となります。

全国信徒会におきましても、「神人の道」が現れてくることを求め取り組んでいくために、神様のお差し向けを受けて、「神人の道」が現れてくるような働きができていきますよう、活動を通して努力して参りたいと思います。

全国信徒会といたしましては神様との縦軸を太くしていくことはもとより、横軸も大切なことでもあります。全国信徒会の委員をはじめ、各教区信徒会の委員とのパイプも太くし、全国信徒会の働きが一層理解され、活動が浸透していきますよう、諸活動を力強く進めて行きたいと願っております。

令和6年度 全国信徒会「活動テーマ」

「神人」を現し、お道を伝える

おもな活動

1. 全国信徒会「第5回全国大会 in 北九州」の開催
2. 「信心生活推進プロジェクト」の具体的な取り組み
「30日信行」の実施
「信心の継承」アンケートの分析と今後の展開（教区信徒会にて取組む）
3. 「女性ネットワーク」の活動展開：研修会の開催
4. 「あいよかけよ」誌の発行
5. 委員の資質向上のための研鑽：委員研修会の開催、「修徳殿入殿」
6. ご用奉仕（本部祭典時）
7. 「当局との意見交換会」の開催

令和6年度 活動方針の具体的方途

1. 全国信徒会「第5回全国大会 in 北九州」の開催

全国信徒会におきましては、6年前から、全国三地域においてブロック信心研修会を開催してきましたが、当初の目的が達成され、さらに信心交流の場として、全国大会を年1回開催することとなりました。

これまでに北海道・金光・四国・首都圏と開催してまいりました。昨年は、教祖140年のお年柄であり、全国大会に代えて、「教祖140年特別研修会」を開催させていただきました。

本年度は、「第5回全国大会 in 北九州」を開催いたします。

大会テーマ 「神人」を現し、和賀心をもって
“世界真の平和”の祈りの輪を広げよう

サブテーマ お差し向けは、神様の働きと受け止め、和賀心を育てる稽古に取り組む

日 時 令和6年9月7日（土）13：00～16：30

会 場 「伊都文化会館大ホール」福岡県糸島市前原東2-2-7（定員900名）

内 容 《大会》・スライド上映「北九州布教について」

- ・講話 講師 金光 清治師（本部在籍）
- ・平和についてのメッセージ（青少年）
- ・アトラクション

《懇親会》伊都文化会館多目的ホール（17：30～19：30）

《平和研修会》9/8 長崎（平和祈願を中心に）※希望者のみ

《宿 泊》HOTEL AZ 福岡糸島店（他教区参加者用）

2. 「信心生活推進プロジェクト」の具体的な取り組み

① 「30日信行」の取り組み

- 【目 的】（1）神様との対話する力を高めさせていただく
（2）神様との縦軸を太くさせていただく
（3）神様中心の心の使い方と行動に変えていく

○各教会への働きかけが十分にできていないので、継続的に取り組んでもらえるように、具体的な方策を模索する。

【期 間】 令和6年7月1日～31日

【取組み】 「30日信行」の資料は、全教に配布させていただきます。

①本部大祭時に、交付物に同封、②「あいよかけよ」誌5月号にチェックシートを、A4サイズで綴じ込み、③各教区信徒会委員長を通じて、各連合会・各教会信徒会長へ配布、声掛けを行う。

【取組みの流れ】

- ・チェックシートに実践項目を記入し、教会へお届けし、お取次を頂く。
- ・「30日信行」の実践は、基本的には令和6年7月1日～31日
- ・期間が終了したら、再度、チェックシートを教会へお届けし、お取次を頂く。
- ・教会へお届け後お下げいただくか、コピーするなどして、教会信徒会毎に取り

まとめ、9月10日迄に、全国信徒会事務局に送付。本部広前にお届けする。

②「信心の継承」についての取り組み

「信心の継承」につきましては、アンケートの集計ができ、天地「夏号」に掲載されました。また、「教祖140年特別研修会」におきまして、斑別懇談でも、話し合いの場を持たせていただきました。

「信心の継承」アンケートの集計結果を利用して、各教区信徒会・各連合会信徒会にて、懇談会や集会などを開催し、より一層「信心の継承」について、幅広い意見を収集し、集まった意見をご報告いただき、全国信徒会としての今後の取り組みに活用したい。

「信心の継承」の大切さと取り組みを、促進していきたい。

3. 「女性ネットワーク」に活動展開

女性信奉者の活動は、全国的にも各地域で「女性信奉者の集い」、「女性のつどい」など、各教区・連合会で開催されています。女性信奉者の活動は、本教に取りましても欠くことはできません。活動に関わる多くの女性信奉者と緩やかなネットワークを構築していくことが願われています。そのために、各教区・連合会におきましても、女性信奉者の柱となる人材を発掘していただきたいと願っています。

世界的に見ましても、日本の女性の社会進出は、先進国の中で最低レベルです。教内の信徒会組織におきましても、同様の状況にあります。女性信奉者の皆様の意識の転換と積極的な取り組みにお力添えをお願いしたいと思います。

- (1) 女性ネットワーク研修会 鳥取県米子教会参拝（予定）
 - ・日 時 2024年6月9日（日）～10日（月）（教団独立記念祭に併せ）
 - ・場 所 鳥取県：米子教会参拝（予定）（米子宿泊）
- (2) 本部大祭 祭場案内係のご用奉仕
- (3) 各地の女性信奉者との連携強化（情報の交換＝女性の集い）
- (4) 全国信徒会「第5回全国大会 in 北九州」への参加協力

4. 「あいよかけよ」誌の発行

- (1) 事業部
 - ① 全国信徒会の機関誌としての役割を果たす
 - ② 文書布教の推進のための取組み（発行の願いの明確化）
 - ③ 販売目標の設定：3,800部を目指す
 - ④ 購読部数減に伴う対応策、購読者数拡大に努める。収入源の確保、経費の見直し、収支のバランスを計る
- (2) 刊行物等運営審議会の開催
 - ① 「あいよかけよ」誌の編集体制の強化と発行の趣旨の明確化
 - ② 文書布教活動が円滑にできるような体制の構築を計る
 - ③ 将来を展望し、たえず現状を確認しつつ方向性を探る
- (3) 「あいよかけよ」誌の編集体制の充実
 - ① 金光教の信心のすばらしさを伝え、感動を与えるような誌面作り

- ② 信徒が作る信心雑誌として継続して発行する
- ③ 投稿原稿を促進する
- ④ 編集委員による編集会議の充実。隔月末に編集会議(Web 会議)、編集内容の確認(スケジュール・取材原稿、その他)、編集委員の役割分担の明確化
- ⑤ 各教区推進委員(教区委員長)は、編集委員としての自覚を持って、教区通信員と共に編集に積極的に関与し、企画・情報を提供する
- ⑥ 時代に即した「あいよかけよ」誌の新しいツールを模索する
- ⑦ 「あいよかけよ」誌の編集体制を整備し、新しい企画で誌面に反映させる

5. 委員の資質向上のための研鑽

全国信徒会の委員は、教区から選出され、教区の代表であります。そのために全国信徒会の活動内容を逐次、地元教区信徒会委員に周知して行くことが、大きな使命と言えます。

そのために、全国信徒会の委員は、神様からのご用として、「真剣に御取次をいただき、御用のおかげをいただく」ことを願いとして、全国信徒会の活動に積極的に参加し、活動を通して自身の信心の向上に努めることが大切なことだと考えています。

- (1) 3月の委員総会時に、委員手引書の説明(初年度)、12月の委員総会時に、講師を招いての研修を実施する
- (2) 5月・11月 全国信徒会委員修徳殿入殿(どちらか1回入殿)
- (3) 祭場での祭典時のご用奉仕にあたる

6. 「当局との意見交換会」の開催

日 程 未定

会 場 本部教庁会議室

出席者 [本部当局] 教務総長、教務理事、布教部次長(進行)
 [全国信徒会] 委員長、副委員長、常任委員

令和6年度 全国信徒会 活動実施計画一覧表

令和6年1月1日～令和6年12月31日

1. 活動計画

No.	項目	担当部門	期 日		備 考
1	第5回全国大会 in 北九州	実行委員会 (北九州教区)	9月7日	土	・会場:伊都文化会館大ホール ・講演 講師:金光清治師(本部在籍) ・平和メッセージ、アトラクション ・9/8平和研修会:長崎(希望者のみ)
2	「30日信行」	信心生活推進 プロジェクト	7月1～31日		《実施手順》 ①項目記入後、教会長へお届け ②信行実施 ③チェックシート記入後、教会長へお届け ④全国信徒会事務局へ送付(9/8まで)
3	「信心の継承」に繋がる調査研究のためのアンケートの分析と今後の展開	信心生活推進 プロジェクト	—		
4	修徳殿入殿	運営部	5月25～26日 11月17日	土日 日	信徒入殿
5	「あいよかけよ」誌の発行	事業部 編集委員会	毎月1回		有料購読数 3,800部目標
6	女性ネットワーク研修会	女性ネットワーク	6月9～10日	日月	鳥取県・米子教会参拝
7	ご用奉仕	運営部	3/31、4/4、7		天地金乃神大祭(祭場案内係)
			6/8、9	土日	6/8:洒掃ご用奉仕 6/9:教団独立記念祭(祭場案内係)
			9/29、10/6、10		生神金光大神大祭(祭場案内係)
			12/7、8	土日	12/7:洒掃ご用奉仕 12/8:布教功労者報徳祭(祭場案内係)

2. 会議計画

No.	会議・行事名	場所・方法	期 日		備 考
1	内局との意見交換会	本部教庁会議室	未 定		
2	常任委員会	オンライン会議	2月3日	土	第104回:決算総会議案審議
		本部教庁会議室 +オンライン会議	6月8日	土	第105回
		オンライン会議	8月24日	土	第106回:次年度計画についての検討
		オンライン会議	11月2日	土	第107回:次年度計画・予算案審議
3	委員総会	本部教庁会議室 +オンライン会議	3月2日	土	第50回:決算総会
			12月8日	日	第51回:予算総会
4	部会・全体会議	本部教庁会議室 +オンライン会議	6月9日	日	各部会の活動状況確認
5	第25回活動運営協議会	本部教庁会議室 +オンライン会議	12月7日	土	各教区活動報告・自由討議
6	刊行物等運営審議会	本部教庁会議室 +オンライン会議	3月3日	日	年間活動報告書 「あいよかけよ」誌の編集方針等
7	部長会・三役会等	オンライン会議	随時		
8	「あいよかけよ」誌 編集企画会議	オンライン会議 ご霊地	隔月		

令和6年度 歳入・歳出予算書

令和6年1月1日 ~ 令和6年12月31日

金光教全国信徒会

(単位 円)

歳入の部

款	項	予算額	5年度予算額	増 △減	備 考
1. 拠出金	① 拠出金	1,936,500	1,936,500	0	13教区
2. 協力金	① 協力金	0	0	0	協力会
3. 諸収入	① 受取利息	1,000	1,000	0	
	② 雑収入	0	0	0	
5. 繰越金	① 前期繰越金	5,200,000	3,100,000	2,100,000	
歳 入 合 計		7,137,500	5,037,500	2,100,000	

歳出の部

款	項	予算額	5年度予算額	増 △減	備 考
1. 活動費		2,460,000	1,160,000	1,300,000	
	① 研修会費	1,800,000	500,000	1,300,000	全国大会R6・R7年分
	② 各種活動協賛金	60,000	60,000	0	広島平和集会20他
	③ 広報活動費	250,000	250,000	0	年間活動報告書
	④ 女性ネットワーク	100,000	100,000	0	教祖直信教会参拝等
	⑤ 信心生活推進PT	200,000	200,000	0	30日信行
	⑥ 運営部	50,000	50,000	0	教区委員長との懇談会等
2. 会議費		1,550,000	1,550,000	0	
	① 委員会費	100,000	100,000	0	
	② 常任委員会費	100,000	100,000	0	
	③ 委員交通費	1,300,000	1,300,000	0	650,000/1回×2
	④ その他会議費	50,000	50,000	0	
3. 事務局費		320,000	250,000	70,000	
	① 旅費交通費	50,000	50,000	0	
	② 備品費	5,000	5,000	0	
	③ 通信費	150,000	80,000	70,000	Dropbox、Zoomアカウント含む
	④ 消耗品費	40,000	40,000	0	
	⑤ 印刷費	50,000	50,000	0	委員手引書
	⑥ 支払手数料	5,000	5,000	0	
	⑦ 雑費	20,000	20,000	0	
4. 予備費	① 予備費	2,807,500	2,077,500	730,000	
歳 出 合 計		7,137,500	5,037,500	2,100,000	

令和6年度「あいよかけよ」誌 収支予算書

令和6年1月1日 ～ 令和6年12月31日

収入の部

(単位 円)

款 項	予 算 額	5年度予算額	増 △減	備 考
I. 購読料収入	7,710,000	7,810,000	△ 100,000	5年度3900冊
1. 定期購読料	7,700,000	7,800,000	△ 100,000	6年度3,900冊
2. スポット	10,000	10,000	0	
II. 広告収入	2,300,000	2,350,000	△ 50,000	
1. 広告料収入	2,100,000	2,150,000	△ 50,000	
2. 年賀広告収入	100,000	100,000	0	
3. 暑中広告収入	100,000	100,000	0	
III. 雑収入	0	0	0	
収入合計	10,010,000	10,160,000	△ 150,000	
IV. 前年度繰越金	240,000	490,000	△ 250,000	5年度末予想
合 計	10,250,000	10,650,000	△ 400,000	

支出の部

款 項	予 算 額	5年度予算額	増 △減	摘 要
I. 製本原価	8,620,000	9,070,000	△ 450,000	5年度4000冊
1. 印刷製本費	3,000,000	3,100,000	△ 100,000	6年度3900冊
2. 梱包発送費	1,650,000	1,650,000	0	
3. 通信費	120,000	120,000	0	
4. 制作費	3,200,000	3,600,000	△ 400,000	
5. 編集会議費	200,000	200,000	0	
6. 取材経費	500,000	500,000	0	
II. 一般管理費	1,520,000	1,470,000	50,000	
1. 事務委託費	850,000	850,000	0	
2. 通信費	120,000	120,000	0	
3. 広告費	0	0	0	
4. 支払手数料	120,000	120,000	0	
5. 消耗品費	100,000	100,000	0	
6. 租税公課	150,000	150,000	0	法人税・消費税
7. 備品費	0	0	0	
8. 交通費	50,000	50,000	0	
9. 会議費	30,000	30,000	0	
10. 雑費	100,000	50,000	50,000	
III. 予備費	110,000	110,000	0	
支出合計	10,250,000	10,650,000	△ 400,000	
IV. 次年度繰越金			0	
合 計	10,250,000	10,650,000	△ 400,000	

① 教区選出委員・特選委員 名簿

(令和5年度～令和7年度)

■教区選出委員(定数31名・常任17名以内)

教区名	定数	教区役職	全国信役職	氏名	教会名	備考
北海道	1	委員長	常任委員	千葉 利樹	もいわ	
東北	1	委員長	常任委員	小山 正弘	会津若松	
関東	3	委員長	副委員長	阪本 正雄	中野	
			委員長	太田 明	大崎	
			常任委員	吉岡 裕子	鎌倉稲村力崎	
信越	1	委員長	委員	欠員		
東海	2		常任委員	浅井 勝美	平針	
			委員	山碓 吉信	蒲郡	
東近畿	3	委員長	常任委員	勝見 嘉彦	東九条	
			副委員長	中谷 智美	五十鈴川	
			委員	鈴木あつ子	北里	
中近畿	4	委員長	常任委員	渡辺 秀孝	韮	
			常任委員	名倉 嘉史	藤井寺	
			委員	小野 勝香	難波	
			委員	欠員		
西近畿	2	委員長	常任委員	大西 昌信	葺合	
			委員	山田 正樹	山手	
東中国	3	委員長	常任委員	平井 道彦	米子	
			委員	西 武則	成羽	
			委員	岡 誠二	光政	
西中国	3	委員長	常任委員	永井 猛	湯田	
			委員	山本 一正	横川	令和6年1月21日選任
			委員	欠員		
四国	2	委員長	常任委員	伊藤 道教	松山東	
			委員	森 光明	詫間	
北九州	4	委員長	常任委員	池尻 勝美	合楽	
			常任委員	宮本 孝寿	尾倉	
			委員	高塚 汎	長崎	
			委員	池田真由美	大牟田白金	
南九州	2	委員長	常任委員	重見 敏也	富士見	
			委員	内門 三朗	鹿児島	

■特選委員(10名以内)

教区名			全国信役職	氏名	教会名	備考
四国			特選・常任委員	花岡建八郎	小松島	
北九州			特選委員	田中佐百合	前原	
南九州			特選・常任委員	田辺 徳子	日田	
南九州			特選委員	野田 和彦	宮崎	
東中国			特選委員	辻 徳子	本部	
東中国			特選委員	西 規雄	本部	

②委員役職・相談役・監事・参与及び当局主管部 名簿

(令和5年度～令和7年度)

■委員(教区選出28名／特選6名 計34名)

相談役／監事／参与

No.	役職	氏名	教区	教会名	備考
1	委員長	太田 明	関東	大崎	
2	副委員長	阪本 正雄	関東	中野	
3	〃	野田 和彦	南九州	宮崎	特選
4	〃	中谷 智美	東近畿	五十鈴川	
5	総務部長	伊藤 道教	四国	松山東	常任
6	総務部次長	西 規雄	東中国	本部	特選
7	〃	高塚 汎	北九州	長崎	
8	総務部員	山本 一正	西中国	横川	
9	運営部長	勝見 嘉彦	東近畿	東九条	常任
10	運営部次長	永井 猛	西中国	湯田	常任
11	〃	大西 昌信	西近畿	葺合	常任
12	運営部員	小山 正弘	東北	会津若松	常任
13	〃	名倉 嘉史	中近畿	藤井寺	常任
14	〃	岡 誠二	東中国	光政	
15	経理部長	花岡建八郎	四国	小松島	特選・常任
16	経理部次長	渡辺 秀孝	中近畿	鞆	常任
17	〃	森 光明	四国	詫間	
18	事業部長	宮本 孝寿	北九州	尾倉	常任
19	事業部次長	池尻 勝美	北九州	合楽	常任
20	〃	千葉 利樹	北海道	もいわ	常任
21	事業部員	山崎 吉信	東海	蒲郡	
22	〃	西 武則	東中国	成羽	
23	あいよかけよ誌編集長	伊藤 道教	四国	松山東	兼務
24	信心生活推進PT代表	重見 敏也	南九州	富士見	常任
25	信心生活推進PT次長	平井 道彦	東中国	米子	常任
26	信心生活推進PT委員	山田 正樹	西近畿	山手	
27	〃	浅井 勝美	東海	平針	常任
28	〃	内門 三朗	南九州	鹿児島	
29	女性ネットワーク代表	田辺 徳子	南九州	日田	特選・常任
30	女性ネットワーク次長	吉岡 裕子	関東	鎌倉稲村ガ崎	常任
31	女性ネットワーク委員	田中佐百合	北九州	前原	特選
32	〃	辻 徳子	東中国	本部	特選
33	〃	池田真由美	北九州	大牟田白金	
34	〃	小野 勝香	中近畿	難波	
35	〃	鈴木あつ子	東近畿	北里	

役職	氏名	教区	教会名
相談役	杉山 謙三	東近畿	伊勢

監事	氏名	教区	総社
	仙石 貴宏	東中国	
〃	欠員		

参与	氏名	教区	久枝
	鈴木 護	四国	

当局主管部

役職	氏名	役職
顧問	橋本美智雄	教務総長
相談役	橋本 信一	教務理事
〃	和田 一真	教務理事
〃	塚本 一真	教務理事

全国信徒会担当

役職	氏名	役職
担当職員	佐藤 満昌	布教部次長
〃	関口 耀暉	布教部部員

全国信徒会事務局

役職	氏名	教区	教会名
事務局員	吉岡 麻衣	四国	祖谷

【令和6年6月現在】

③「あいよかけよ」誌編集委員会・全国信徒会協力会 名簿

(令和5年度～令和7年度)

「あいよかけよ」誌編集委員会

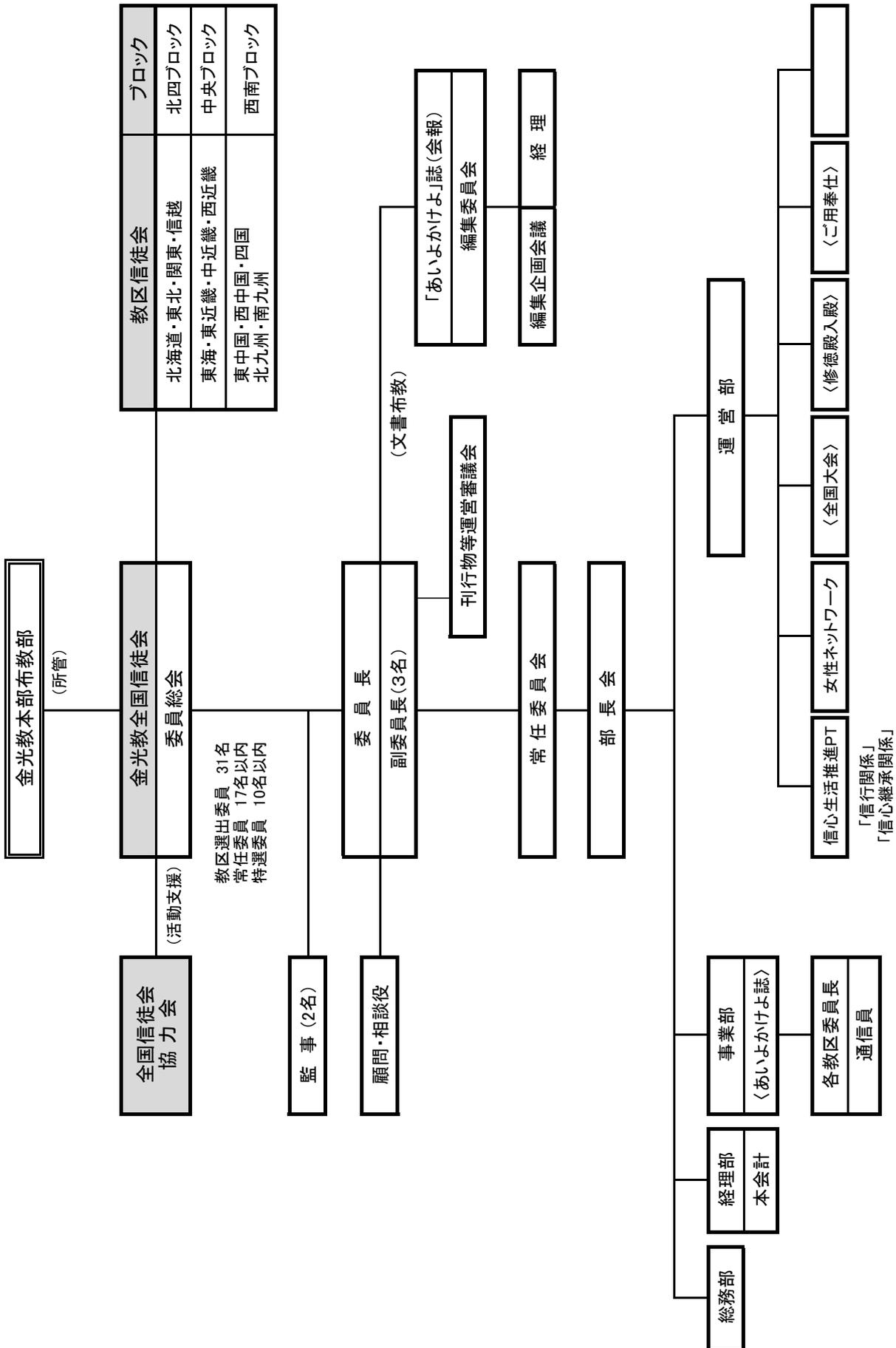
役 職	氏 名	教区	教会名
編集委員長	宮本 孝寿	北九州	尾 倉
編 集 長	伊藤 道教	四 国	松山東
編 集 委 員 (教区委員長)	千葉 利樹	北海道	もいわ
	小山 正弘	東北	会津若松
	阪本 正雄	関 東	中 野
	浅井 勝美	東 海	平 針
	勝見 嘉彦	東近畿	東九条
	渡辺 秀孝	中近畿	韮
	大西 昌信	西近畿	葺 合
	平井 道彦	東中国	米 子
	永井 猛	西中国	湯 田
	池尻 勝美	北九州	合 楽
	重見 敏也	南九州	富士見
編 集 委 員 (選 任)	山本 朝男	関 東	水 戸
	江川 和子	関 東	浦 和
	進藤 寛子	関 東	浦安(布)
	高井 瑠美	関 東	亀 有
	中谷 智美	東近畿	五十鈴川
	野田 和彦	南九州	宮 崎
	辻 徳子	東中国	本 部
	森山茂登子	東中国	本 部
	田中佐百合	北九州	前 原

全国信徒会協力会

役 職	氏 名	教区	教会名
会 長	杉山 謙三	東近畿	伊 勢
会 計	渡辺 秀孝	中近畿	韮
運 営 委 員	千葉 利樹	北海道	もいわ
	小山 正弘	東北	会津若松
	阪本 正雄	関 東	中 野
	浅井 勝美	東 海	平 針
	勝見 嘉彦	東近畿	東九条
	渡辺 秀孝	中近畿	韮
	大西 昌信	西近畿	葺 合
	平井 道彦	東中国	米 子
	永井 猛	西中国	湯 田
	伊藤 道教	四 国	松山東
	池尻 勝美	北九州	合 楽
重見 敏也	南九州	富士見	
監 事	仙石 貴宏	東中国	総 社
事務局長	吉岡 麻衣	四 国	祖 谷

【令和6年6月現在】

令和6年度 全国信徒会組織図 (令和6年5月現在)



「あいよかけよ」誌 購読のお願い

「あいよかけよ」誌は……

金光教全国信徒会の会報で、金光教の信心を伝える冊子です。

いきいきした信心をめざし、皆さんの意見を反映します。

皆さんの投稿、発言歓迎！

生まれたての信心から、

ベテランの信心まで。

北海道から九州・沖縄・海外まで、

誌面を通して仲間ができます。

交流が生まれます。

どうぞお手元に

「あいよかけよ」誌を！



「あいよかけよ」誌のお申し込み方法

○購読申し込みは、原則として年間契約で、購読料前納制です。

○購読料：定価 170 円

年間購読料(12号分)1,900円 [送料別]

※送料は下表を参照下さい。教会等でまとめて購入されますと、送料が割安になります。

○購読料の納入方法

お申込みいただくと、最初の送本の際に振込用紙をお送りしますので、ご利用下さい。

○毎月の「送本冊数」と「年間送料」の早見表

1冊	800円	2～4冊	1,000円
5～10冊	1,500円	11～14冊	2,000円
15～19冊	2,500円	20冊	2,900円
21～40冊	5,600円	41～99冊	10,000円
100冊以上は無料			

※ご不明の点は、お近くの教区信徒会委員または下記までお尋ね下さい。

【申込先／お問い合わせ先】

〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷 320
金光教本部教庁 6階
金光教全国信徒会
TEL・FAX 0865-42-4870
sintokai@konkokyo.or.jp

令和5年度 年間活動報告

並びに令和6年度活動計画

令和6年6月9日 発行

発行 金光教全国信徒会
〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷 320
金光教本部教庁 6階
TEL・FAX 0865-42-4870
sintokai@konkokyo.or.jp
http://aiyokakeyo.konko.jp/

発行責任者 太田 明
編集責任者 阪本 正雄・野田 和彦・伊藤 道教
印刷所 昭和印刷株式会社

金光教宣言

大いなる天地に生かされる人間として
すべてのいのちを認め、尊び
神と人、人と人、人と万物が
あいよかけよで共に生きる世界を実現する

全国信徒会（令和6年度）

[綱 領] 真剣に御取次をいただき、御用のおかげをいただく

(活動・精神・理念)

(昭和28年8月5日 三代金光様からいただく)

[布教実践項目]

1. 家族そろって教会参拝につとめます。
1. 今を喜び笑顔になる「けいこ」をします。
1. 人の助かりを願う信心に取り組みます。
1. 何事も実意丁寧に行います。